

国際子ども図書館展示会

「絵本に見るアートの100年—ダダからニュー・ペインティングまで」

開催のお知らせ



国立国会図書館国際子ども図書館では、令和元年10月1日（火）から令和2年1月19日（日）まで、展示会「絵本に見るアートの100年—ダダからニュー・ペインティングまで」を開催します。

近年、絵本に対して、その視覚表現性に注目し、美術作品の一つとして探究する動きが見られるようになってきました。その流れを受け、この展示会では、主に20世紀における革新と創造に焦点を当て、美術の観点から国内外の絵本を紹介します。また、11月9日（土）には関連講演会「美術と絵本—冒険と革新」を開催します。

【お問合せ先】 国立国会図書館 国際子ども図書館
企画協力課 03-3827-2041(直通)

【展示会開催概要】 ※前期・後期で展示替えがあります。

会 期	(前期) 2019 (令和元) 年 10月1日 (火) ~11月17日 (日) (後期) 11月19日 (火) ~2020 (令和2) 年 1月19日 (日)
開 館 時 間	9時30分~17時
休 館 日	月曜日、国民の祝日・休日、年末年始 (12月27日~1月6日)、 毎月第3水曜日(資料整理休館日)
会 場	国立国会図書館国際子ども図書館レンガ棟3階 本のミュージアム
入 場 料	無料
そ の 他	会期中スタッフによるギャラリートークを予定しています。詳細は国際子ども図書館ホームページをご覧ください。
ホームページ	https://www.kodomo.go.jp/event/exhibition/tenji2019-03.html

※報道に際して国立国会図書館国際子ども図書館の名称を表記する場合は、「国際子ども図書館」のように略さずに「国立国会図書館 国際子ども図書館」と表記していただくよう、お願い申し上げます。

【展示構成】

展示会では 20 世紀初頭に起こったダダやシュルレアリスムに始まり、第二次世界大戦を経て現代に至るまでの芸術思潮と絵本の関わりについて、前期・後期あわせて約 300 点の資料を用いてご紹介します。そのほか、特別コーナーでは様々な画家によって描かれた「不思議の国のアリス」、「赤ずきん」、「ピノキオ」を展示します。

第 1 章 ダダ

第 2 章 シュルレアリスムの系譜

第 3 章 ロシア・アヴァンギャルド

第 4 章 チェコ・アヴァンギャルド

第 5 章 バウハウスとニュー・バウハウス

第 6 章 グラフィック・デザインの可能性

第 7 章 日本のモダニズム

第 8 章 第二次世界大戦後の美術の展開

【出展アーティスト】 ※「展示資料一例」に掲載のアーティストを除く

岡本太郎、香月泰男、草間彌生、小磯良平、古賀春江、野見山暁治、村上隆、横尾忠則、李禹煥、キース・ヘリング、クルト・シュヴィッターズ、サルヴァドール・ダリ、ジム・ダイン、ジャン＝ミシェル・バスキア、ソニア・ドローネー、マリー・ローランサン ミンモ・パラディーノ 他多数

【展示資料一例】

以下の画像は本展示会広報の目的であればご提供できます。掲載をご希望の場合はお問い合わせください。

①



②



③



- ① 『6つの構成による2つの正方形についてのシュプレマティスムのお話』エル・リシツキー 絵、Skify 1922
 ② 『海と灯台の本』ウラジーミル・マヤコフスキー 文 ボリス・ポクロフスキー 絵 松谷さやか 訳、新教出版社 2010
 ③ 『ダーシェンカ：あるいは子犬の生活』カレル・チャペック 文・絵・写真 カレル・タイゲ 装幀 保川亜矢子 訳、メディアファクトリー (KADOKAWA) 1998

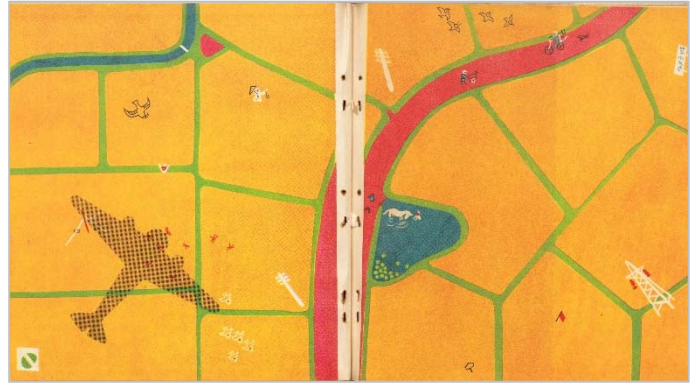
④



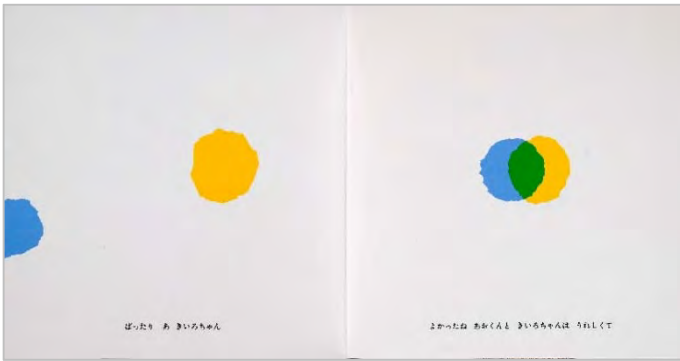
⑤



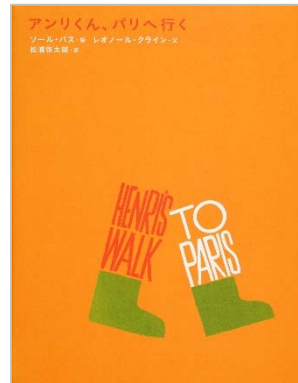
⑥



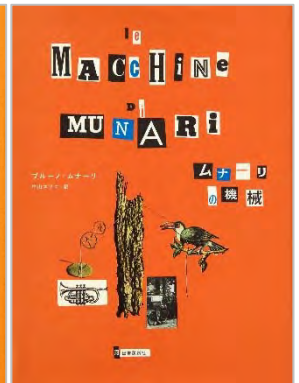
⑦



⑧



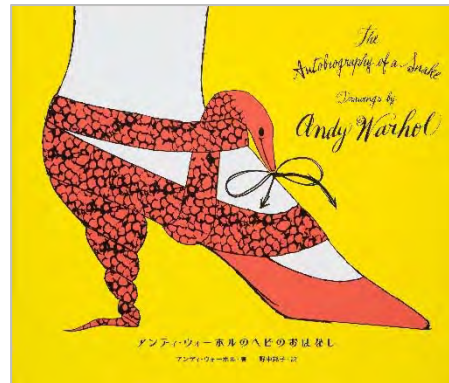
⑨



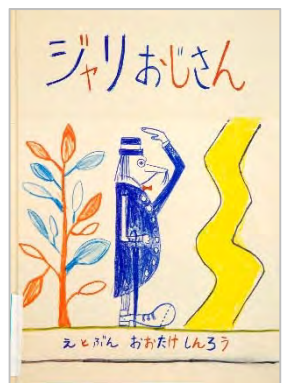
⑩



⑪



⑫



- ④ 『幸福の王子』 オスカー・ワイルド 原作 曾野綾子 訳 建石修志 画、バジリコ 2006
 ⑤ 扉絵「人造人間」『身体と食物』 正木不如丘 著 恩地孝四郎 絵、アルス 1927
 ⑥ 『米』 鈴木文助 編 夏川八郎 (柳瀬正夢) 画、東京社 1937
 ⑦ 『あおくとときいろちゃん』 レオ・レオーニ 作 藤田圭雄 訳、至光社 1981
 ⑧ 『アンリくん、パリへ行く』 ソール・バス 絵 レオノール・クライン 文 松浦弥太郎 訳、Pヴァイン・ブックス 2012
 ⑨ 『ムナーリの機械』 ブルーノ・ムナーリ 著 中山エツコ 訳、河出書房新社 2009
 ⑩ 『あひるさんとにわとりさん』 村山篤子 作 村山知義 絵、ニューフレンド 1948
 ⑪ 『アンディ・ウォーホルのヘビのおはなし』 アンディ・ウォーホル 著 野中邦子 訳、河出書房新社 2017
 ⑫ 『ジャリおじさん』 おおたけしんろう えとぶん、福音館書店 1994



関連講演会「美術と絵本—冒険と革新」

20世紀初頭は、美術の表現形式に革新がもたらされた時代でした。そこには、美術の流れを作る新しい表現を模索しつつ、絵本においても冒険的な表現を試みた美術家もいました。この講演会では、そうした美術家たちの作品と絵本との関わりを、うらわ美術館学芸員の山田志麻子氏にお話しいただきます。

【開催概要】

日 時	11月9日(土) 14時~16時
講 師	やまだしまこ 山田志麻子氏(うらわ美術館学芸員)
会 場	国際子ども図書館アーチ棟1階 研修室1 (東京都台東区上野公園12-49)
対 象	中学生以上(定員100名)
申 込 方 法	インターネット上のフォーム又ははがきで受付。 詳細はホームページをご覧ください。
締 切	10月25日(金)
参 加 費	無料
ホームページ	https://www.kodomo.go.jp/event/event/event2019-13.html

※この講演会は、台東区と上野の山の文化施設などで組織される上野の山文化ゾーン連絡協議会主催「上野の山文化ゾーンフェスティバル」の一環として開催します。

【講師紹介】

山田 志麻子 (やまだ しまこ) 氏

さいたま市教育委員会事務局生涯学習部うらわ美術館学芸員。

東京藝術大学大学院美術研究科修了。平成8年から浦和市教育委員会美術館開設準備室に勤務し、平成12年から現職。平成25年から平成26年にかけて同美術館において開催された展覧会「アートが絵本と出会うとき—美術のパイオニアたちの試み」を担当。単著に『ディーター・ロート』(富士ゼロックス)、共著に『ブック・アートの世界：絵本からインスタレーションまで』(水声社)、『絵本の事典』(朝倉書店)等、現代美術と絵本に関する書籍を執筆。